

試験開始の指示があるまで、この配布資料の中を見てはいけません

2026 年度 神戸市外国語大学

総合型選抜 配布資料

【注意事項】

1. この配布資料は、この用紙を除いて、両面 20 枚（40 ページ）あります。
2. 印刷不明瞭、ページの落丁、乱丁に気づいた場合は、手を高く挙げて監督者に知らせてください。
3. 資料の余白等は適宜利用してかまいません。
4. 授業の時にスクリーンに映るすべてのスライドが資料になっているわけではありません。
5. 不正行為について
 - ① 不正行為に対しては、厳正に対処します。
 - ② 不正行為に見えるような行為が見受けられた場合は、監督者がカードを用いて注意します。
 - ③ 不正行為を行った場合は、その時点で受験を取りやめさせ退室させます。
6. 試験終了後、この冊子は持ち帰ってください。

漢字よ滅べ

—中国近代の文字改革運動と進化論—

目次

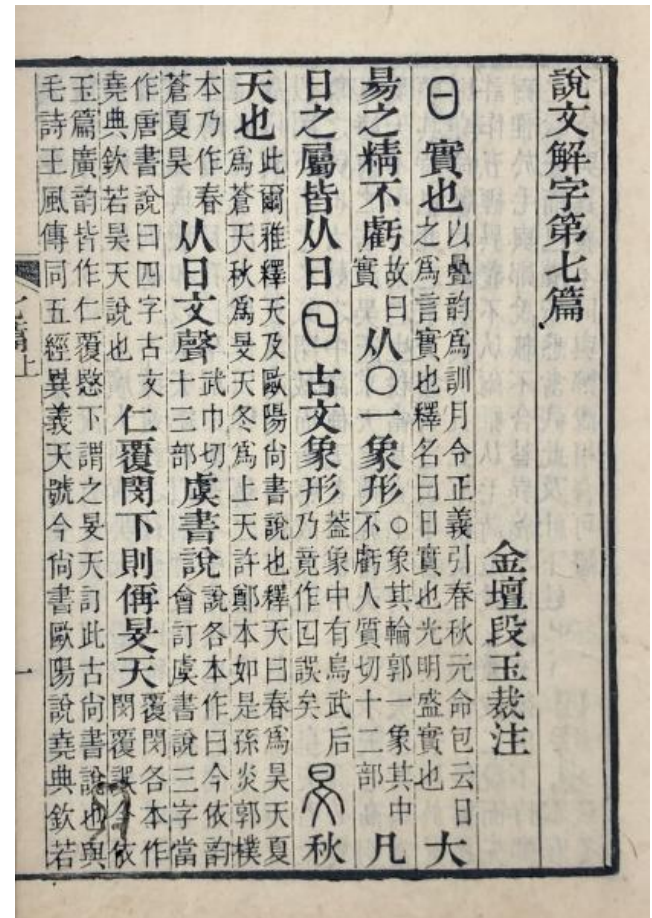
1. 漢字の構成原理
2. 漢字の非合理性
3. 中国近代の文字改革運動
4. 文字改革運動と進化論
5. まとめ

1. 漢字の構成原理

漢字の構成原理

■最古の漢字字典：後漢・許慎の『説文解字』（紀元後100年頃）

- 「六書」：象形・指事・會意・假借・形声・轉注という6種類の構成原理
- 5つの発展段階



(清・段玉裁注『説文解字』)

(1) 概念を写生的に表現する

■ 象形：物体そのものをかたどり文字として表現する

• 「馬」

※上から①甲骨文（殷代）、②金文（周～春秋時代）、③石鼓文・竹簡・帛書など（春秋戦国時代）、④小篆（秦代）の順。高明『古文字類編』による（以下同）

①甲骨文

②金文

③石鼓文等

④小篆

(1) 概念を写生的に表現する

■ 象形：物体そのものをかたどり文字として表現する

• 「羊」

①甲骨文

②金文

③石鼓文等

④小篆

(2) 概念を象徴的に表現する

■ 指事：抽象的な概念を象徴的に表現する

• 「上」

① 甲骨文

② 金文

③ 石鼓文等

④ 小篆

(2) 概念を象徴的に表現する

■ 指事：抽象的な概念を象徴的に表現する

- 「下」

① 甲骨文

② 金文

③ 石鼓文等

④ 小篆

(3) 概念を組み合わせる

■ 会意：二つ以上の文字を組み合わせる

- 「好」 = 「女」 + 「子」
- 〈女と子〉 (本義) → 〈いつくしむ〉 → 〈好ましい・よい〉 (派生義)

➤ 意味が派生する

① 甲骨文

② 金文

③ 石鼓文等

④ 小篆

(3) 概念を組み合わせる

■ 会意：二つ以上の文字を組み合わせる

- 「休」 = 「人」 + 「木」
- 〈木と人〉 (本義) → 〈よりかかる〉 → 〈休む〉 (派生義)

① 甲骨文

② 金文

③ 石鼓文等

④ 小篆

(4) 音を借りる

■ 仮借：ある文字を同音・類似音の概念として借用する

- 「隹」
 - 〈尾の短い鳥〉（本義）
← 〈Yes〉（借用義）
- 一つの文字が共有され意味が本義と借用義に分裂する

①甲骨文

②金文

③石鼓文等

④小篆

(4) 音を借りる

■ 仮借：ある文字を同音・類似音の概念として借用する

- 「才」
- 〈草の芽〉（本義） →
〈はじまり〉（派生義）
← 〈ある〉（借用義）

①甲骨文

②金文

③石鼓文等

④小篆

(5) 音と概念を 組み合わせる

■ 形声：仮借した文字
に概念を表す文字を
組み合わせる

- 「隹」 〈尾の短い鳥〉
⇔ 〈Yes〉
- 「隹」 + 「口」 =
「唯」 〈Yes〉
- 音を表す成分（声符）
と概念を表す成分（意
符）が共存する

①甲骨文

②金文

③石鼓文等

④小篆

(5) 音と概念を 組み合わせる

■ 形声：仮借した文字に
概念を表す文字を組み
合わせる

- 「才」 〈はじまり〉 ⇔
〈ある〉
- 「才」 + 「土」 = 「在」
〈ある〉

■ 転注：定説なし

① 甲骨文

② 金文

③ 石鼓文等

④ 小篆

2. 漢字の非合理性

表音文字と表意文字

■表音文字（phonogram）：1文字 = 1音

- 「a」 （ローマ字）
- 「あ」 （ひらがな）
- 「ア」 （カタカナ）
- 「아」 （ハングル）

■表意文字/表語文字（ideogram/logogram）：
1文字 = 1意味（単語）

- 「山」 （漢字）

表音文字と表意文字

■表音文字

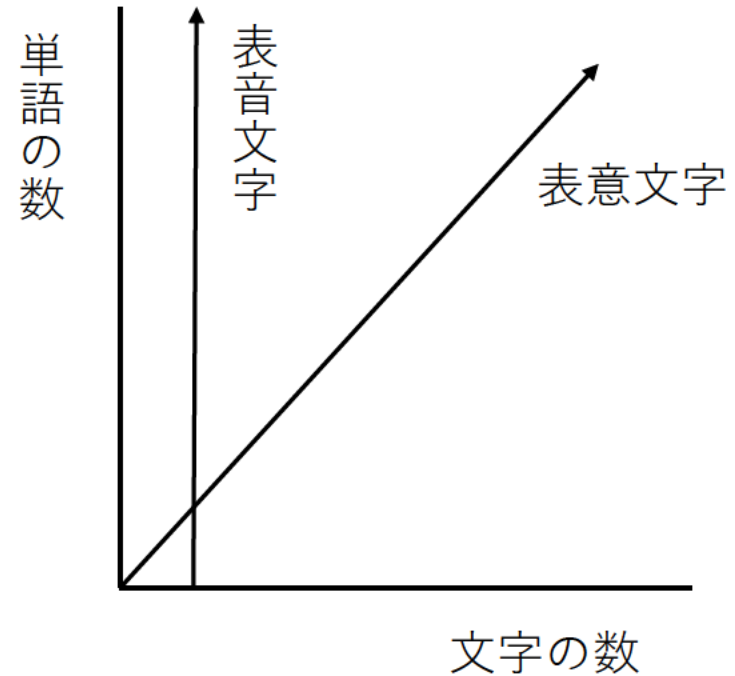
- 単語が増えても文字の数は増えない

■表意文字（表語文字）

- 文字の数と単語の数が正比例する

➤ 言語の音は有限だが単語は無限

■文字の数と単語の数の 相関関係



漢字の非合理性

■漢字習得のために強いられる負担

- 一つ一つの文字の形に応じた音と意味を覚えていかなければならない

形： 山
音： shān（日本語「サン/やま」）
意味：  〈mountain〉

- 中国で一般に通用している漢字は約7000、初等教育では3500ほどの常用字を覚える
- 漢字の形・音・意味をマスターするために費やされる時間は膨大

漢字の非合理性

■漢字は社会のあり方を規定する

- 漢字習得に時間を割ける環境を持つ者とそうでない者との間の乖離
- 漢字を操れる者とそうでない者の絶対的格差
- 秦の始皇帝による諸国統一（紀元前221年）以来の「法による統治」の基本は文字行政
- ごく一部の支配者（＝識字層）と絶対多数の被支配者（＝非識字層）という社会構造

漢字の非合理性

■西洋人が見た漢字

Theoretically, the Chinaman has to make an enormous number of characters before he can write his own language, so that, at the age of twenty-five, a diligent student has barely acquired the same amount of facility in reading and writing which is usually attained by an English child — using the twenty-six characters of his alphabet — at the age of ten. (Edward Clodd, *The Story of the Alphabet*, 1900)

理論的には、中国人は大量の漢字を覚えなければ自らの言語を書くことができない。それゆえ、中国の勉強熱心な25歳の学生の読み書きの能力は、26個のアルファベットを使用する10歳のイギリスの子供の能力に等しい。（クロッド『アルファベットの物語』，1900年，一部表記を改めた部分がある）

3. 中国近代の文字改革運動

文字改革運動

■中国の文字改革運動（切音字運動）

- 清代（1644-1912）末期に起こった、漢字を廃止して新たな文字を創造しようとする運動
- 最初の試みがなされた1892年から辛亥革命（1911年）までの20年間に、合計28種類の新しい文字が考案される

■文字改革のタイプ

- (1) ローマ字を改良する
- (2) 速記を改良する
- (3) 数字で表記する
- (4) 漢字を簡略化する

(1) ローマ字派

■ 盧戡章 (1854-1928) 考案の「切音新字」

- 『一目了然初階』 (1892年)

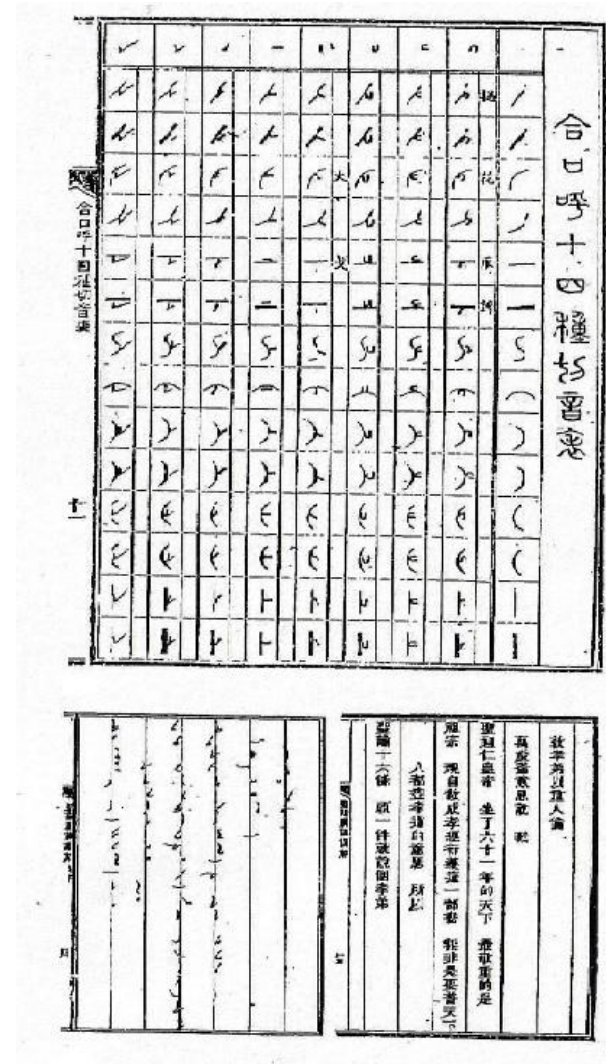
※図は武田雅哉『蒼頡たちの宴—漢字の神話とユートピア—』 (筑摩書房, 1994) による (以下同)



(2) 速記派

■ 蔡錫勇 (1850-1896) 考案の「伝音快字」

- 『伝音快字』 (1896年)



(3) 数字派

■ 田廷俊考案の「数目代字」

- 『数目代字訣』 (1901年)

春日遇成
 雲淡風輕近午天
 傍花隨柳過前川
 時人不識余心樂
 將謂偷閑學少年
 程明道

56	420	213	176
五六	四二〇	二一三	一七六
468	154	44	272
四六八	一五四	四四	二七二
142	133	72	300
一四二	一三三	七二	三〇〇
417	225	112	417
四一七	二二五	一一二	四一七
256	63	205	357
二五六	六三	二〇五	三五七
146	277	184	
一四六	二七七	一八四	

(4) 漢字簡略派③

■ 章炳麟 (1869-1936) 考案の「紐文・韻文」

- 『駁中国改用万国新語說』 (1908年)

フ	今隸從小篆作及唐韵巨立切即舊羣母
ハ	今隸作文唐韵魚廢切即舊疑母
牙音	亦曰淺溪音
一	今隸作一唐韵於悉切即舊影母
厂	今隸作厂唐韵呼早切即舊曉母
乙	今隸作乙字亦作以唐韵羊止切即舊喻母
凡	今隸作凡唐韵平咸切即舊匣母
舌頭音	
フ	今隸作フ唐韵都牟切即舊端母
土	今隸作土唐韵七督切即舊透母
穴	今隸作穴唐韵徒蓋切即舊定母
章炳麟書	別錄二
フ	今隸作乃唐韵奴支切即舊泥母
舌上音	
千	今隸作千唐韵陟格切即舊知母
中	今隸作中唐韵五列切即舊徹母
以	今隸作以唐韵直呂切即舊澄母
尼	今隸作女唐韵尼呂切即舊娘母
正齒音	
之	今隸作之唐韵之若切即舊照母
川	今隸作川唐韵昌錄切即舊穿母
士	今隸作士唐韵相里切即舊牀母
尸	今隸作尸唐韵式脂切即舊審母

十	今隸作十唐韵是執切即舊禪母
齒頭音	
フ	今隸作フ唐韵子縮切即舊精母
七	今隸作七唐韵執吉切即舊清母
△	今隸作△唐韵泰入切即舊徹母
△	今隸作△經典相承以私爲之唐韵息夷切即舊心母
フ	今隸作フ唐韵祥易切即舊邪母
重唇音	
川	今隸作川唐韵博拔切即舊幫母
米	今隸作米唐韵匹勿切即舊滂母
白	今隸作白唐韵旁陌切即舊並母
章炳麟書	別錄二
フ	今隸作一唐韵莫狄切即舊明母
輕唇音	
レ	今隸作レ經典相承以方爲之唐韵府良切即舊非母
レ	今隸作レ唐韵分勿切即舊微母
レ	今隸作レ唐韵房審切即舊奉母
卍	今隸作未唐韵無沸切即舊微母
半舌音	
フ	今隸作了唐韵盧萬切即舊來母
半齒音	
人	今隸作人唐韵人汗切即舊日母
右紐文三十六作一等規左下作二等規左上作三等規	

中国近代の文字改革運動

■新文字考案者の見方

国家が富強となるための基礎は科学である。科学を振興するためには教育を普及させなければならない。教育を普及させ科学を振興するためには表音文字が必要である。表音文字ならば言文が一致し、字画が簡単で学びやすい。漢字習得に費やす十数年を数学、物理、化学などの勉強に振り向ける。そうすれば、国家はおのずと富強になる。（盧戡章『一目了然初階』自序（大意），1892年）

4. 文字改革運動と進化論

文字改革運動と進化論

■自然進化論

- ダーウィン『種の起源』（C. Darwin, *On the Origins of Species*, 1859）
- 「自然選択による進化」という生物学上の仮説

■社会進化論

- スпенサー『生物学原理』『社会学原理』（H. Spencer, *Principles of Biology*, 1864-67; *Principles of Sociology*, 1876-96）等
- ハクスリー『進化と倫理』（T. Huxley, *Evolution and Ethics*, 1893）
- 「適者生存」「優勝劣敗」の原理

文字改革運動と進化論

■ハクスリーの進化論とスペンサーの進化論

- ハクスリー：人間社会の進化においては生物界の「優勝劣敗」「適者生存」の原理は働かない
- スペンサー：「生存競争」による「自然淘汰」は、宇宙の創造から国家・社会・人間の運命までをも支配する一元的原理である

■中国における進化論の受容

- 嚴復（1854-1921）による『進化と倫理』の中国語訳『天演論』（1898年）
- 実際に紹介したのはスペンサーの社会進化論
- 日本語版からの翻訳も広く紹介されていた

文字改革運動と進化論

■ 『天演論』 の影響

『天演論』は出版後数年たたずして、全国を風靡し、とうとう中学生の読み物にまでなったが、この本を読んだ人の中で、ハクスリーの科学史上また思想上の貢献を、理解し得た人は極めて稀であった。彼らが理解し得たのは、「優勝劣敗」の公式が、国際政治上にもつ意義だけであった。我が国の度々の敗戦の後において、この「優勝劣敗、適者生存」の公式は、確かに一つの鋭い忠告であり、無数の人々に絶大な刺激を与えた。数年のうちにこの思想は、野火のように多くの若者の心と血の中に燃え広がっていった。（胡適『四十自述』，1931年）

言語進化論と文字進化論

■世界の言語における三つの古典的類型

- 屈折語 (Inflectional language) : 文法的関係を表す要素が単語の内部に埋め込まれる (インド・ヨーロッパ諸語など)
- 膠着語 (Agglutinative language) : 文法的関係を表す要素が単語の前後に付着する (アルタイ諸語、日本語・朝鮮語など)
- 孤立語 (Isolating language) : 文法的関係を表す要素が存在しない (中国語など)

■シュライヒャー (1821-68) の「言語進化論」

- 孤立語→膠着語→屈折語の順に進化
- 中国語は最も原始的な段階にある

言語進化論と文字進化論

■クロッド（1840-1930）の「文字進化論」

- 世界の文字は進化する
 - ①記憶補助（Mnemonic）
 - ②絵画文字（Pictorial）
 - ③表意文字（Ideographic）
 - ④表音文字（Phonetic）
- 進化を停止した地域

China, ... is the land of arrested developments, and consequently its writing has remained for probably two thousand years at a rudimentary stage. (Edward Clodd, *The Story of the Alphabet*, 1900)

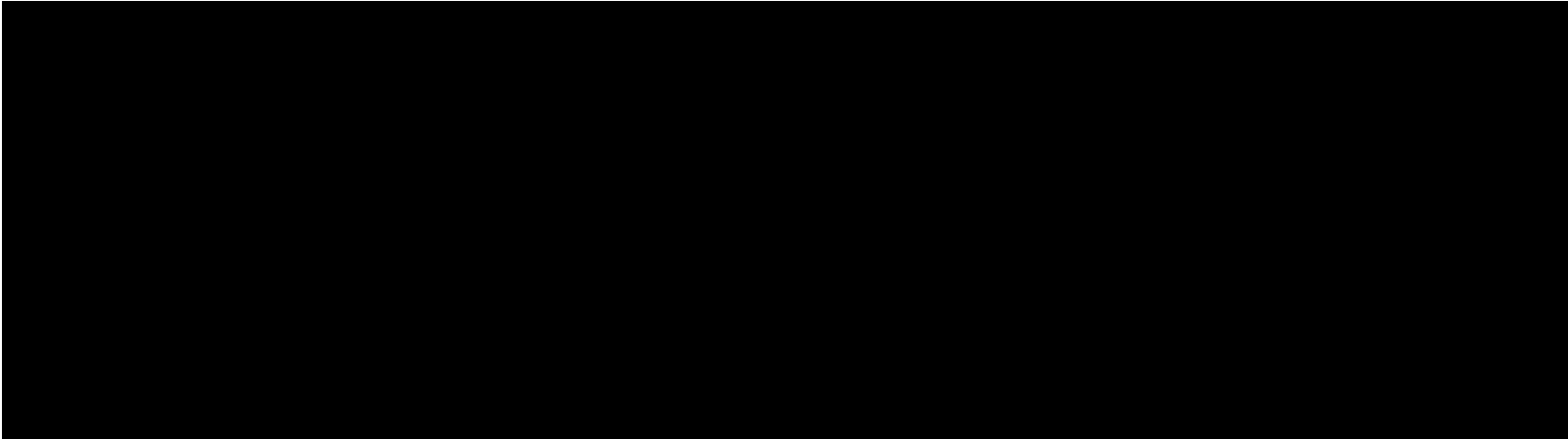
中国は進化を停止した地域であり、その文字は約2000年の間、原始時代の段階に停滞している。（『アルファベットの物語』，1900年，一部表記を改めた部分がある）

文字進化論の受容

■当時の知識人の見方

• 傅斯年（1895-1950）

要するに、中国の文字の起源は極めて野蛮、その形状は極めて奇異、覚えるのに極めて不便、用いるのに極めて不経済、まことに「不器用」で「いい加減」な妖怪変化の文字であって、世界一不便な道具である。漢字を神聖なものとして崇拜する輩は世界一の馬鹿者だ。（「漢語改用拼音文字的初步談」，1919年）



漢字廃止運動の動機

■帝国主義による中国侵略と内乱の時代

- アヘン戦争（1840-42）
- 太平天国の乱（1851-64）
- アロー号事件（第二次アヘン戦争）（1856-60）
- 日清戦争（1894-95）
- 義和団の乱（1899-1901）

■文明崩壊への危機感

- 中国文明の「後進性」の自覚
- 漢字という「遅れた文字」こそ諸悪の根源

文字改革運動その後

■その後の展開

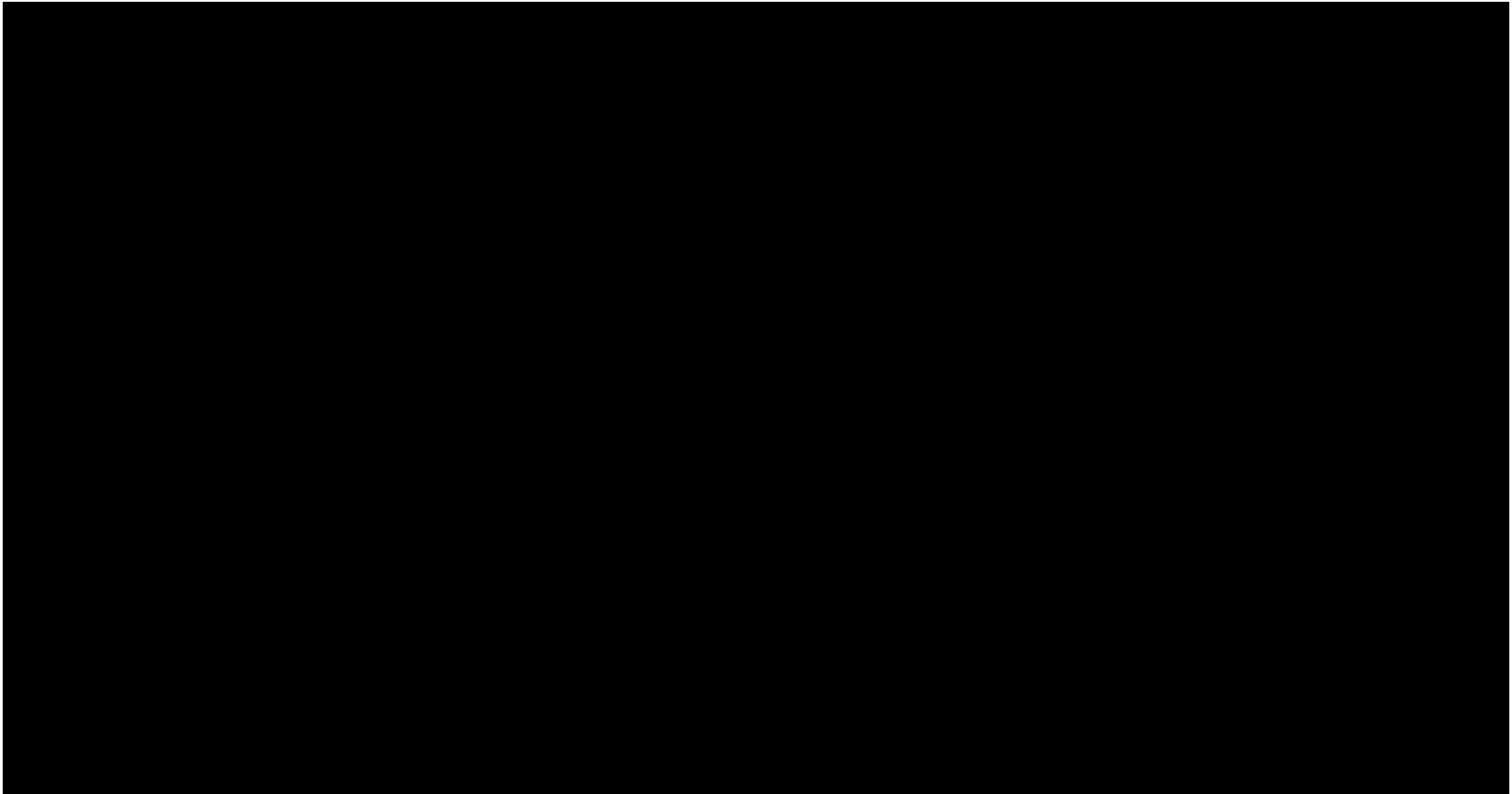
- 「注音字母」 (1918年)
- 「国語ローマ字」 (1928年)
- 「ラテン化新文字」 (1931年)

■簡体字とピンイン：次善の策として

- 漢字の画数を減らして簡略化した「簡体字」 (1964年より)
- ローマ字によって補助的に漢字の発音を表す「ピンイン (拼音)」方式 (1958年より)

文字改革運動その後

■途上にある文字改革



まとめ

■漢字という文字

- 東アジアに巨大文明圏を形作り、その社会構造を長く規定してきた
- 漢字が生まれた瞬間から、中国人はそれに支配される運命にあった

■漢字の運命と進化論

- 知識人が主導した漢字廃止論
- 異なる文化との衝突による自省

この授業は、以下の参考文献をもとに作成しました。

【参考文献】

- ・【武田 雅哉】蒼頡たちの宴 漢字の神話とユートピア 株式会社 筑摩書房（p 203、 p 205、 p 211、 p 229、 p 218, p 239）
- ・【高 明編】古文分類編 中華書局出版（p 2、 p 12、 p 33. P 126、 p 190、 p 192、 P 226、 p 419、）
- ・【Edward Clodd】The Story of the Alphabet Kessinger Publishing（p 82～83, p 86～87）
- ・【虜巒章】一目了然初階 文字改革出版社出版（p 341）
- ・【胡適】四十自述 亜東図書館（p 99）
- ・【傅斯年】漢語改用拼音文字的初步談 聯經出版事業公司（p1141）
- ・【魏建功】魏建功文集（共 5 卷） 江苏教育出版社（p 121）
- ・【费锦昌主編】中国語文現代化百年記事（p 155）
- ・【中国共产党第七届中央委员会】中共中央关于文字改革工作问题的指示